



小野田中学校は、学校・家庭・地域で、子どもの成長を応援します！

小中だより3月号②

小野田中はコミュニティ・スクールです。

山陽小野田市立小野田中学校

《学校教育目標》
《校訓》

『地域とともに、心豊かで学び続ける生徒の育成』
健康明朗 清潔整頓 勤勉努力 自主自律

TEL 83-2576
FAX 83-2838

平成30年度修了式

本日26日(火)、修了式を迎えました。以下、校長先生の式辞を紹介します。



まずは、今代表の生徒に修了証を渡しましたが、1年生97名、2年生130名の進級を認めます。

ところで、皆さんの平成30年度はどうだったでしょうか？

2年生、この1年間で大きく成長しましたね。すばらしい！1年生の時の状況から考えるとめざましい進歩です。そして、いよいよ中学校生活最後の学年を迎えようとしています。4月からは「最上級生・小中の顔、そして、受験生」です。後輩たちの目標・憧れとなる行動を期待します。

次に1年生。1年生も学校生活を落ち着いた態度で過ごすことができました。すばらしい！いよいよ4月からは下級生が入ってきます。皆さんは、今まで1年生でしたから、少しは甘えもあり、許されたこともあったかもしれません。しかし、4月からは中堅学年です。新しく入ってくる後輩に手本を示さなくてはなりません。その分責任も重くなってきます。良き先輩となれるよう頑張ってください。

修了式にあたり、「3つの幸せ」について話します。皆さんは、カー用品を販売している「イエローハット」を知っていますよね。その創業者である鍵山秀三郎（かぎやま ひでさぶろう）さんが「幸せには3つある」と言っています。



まず1つは「もらう幸せ」です。これは、誰かに何かをしてもらう幸せです。子供の頃は何でも親に世話をしてもらっていましたね。また、何かをプレゼントしてもらったり、親切にってもらったり、やっぱりしてもらうのは嬉しいし、幸せですね。でも、これらの幸せは、一時的なもので終わってしまいます。

2つめは「できる幸せ」です。これは、今までできなかったことが、自分で何かをできるようになる幸せです。例えば、自転車に乗れるようになる。部活動で技能が向上する。数学の計算問題が解けるようになった。など、このようにできなかったことができるようになることは、とてもうれしいことです。でも、これらの幸せは自分一人の幸せにとどまり、他人の幸せにはなかなか結びつきません。

3つめの幸せは、「あげる幸せ」です。これは、人のために自分の時間を使い、汗を流して味わう幸せです。これが一番大切なことだと言われています。

例えば、お年寄りの重い荷物を持ってあげる。部活動で悩んでいる人の相談にのってあげる。勉強が分からない友だちに親切に教えてあげる。これらの行いで得る幸せは、いずれも「自分が人の役に立っている」と実感したときに味わう幸せです。誰かに何かをしてあげることは、一見すると、自分が損をしているかのように見えるかもしれませんが、誰かの喜ぶ顔を見る幸せ、誰かに必要とされる喜びは、最高の幸せだと思います。

生徒の皆さんの中から、この「あげる幸せ」を実行する人がたくさん現れることを期待します。

最後に、この春休みは短いですが、皆さんにとっては、大きな節目となる大事な休みです。今までの自分を振り返り、悪かった点はリセットし、良かった点をさらに伸ばしてほしいと思います。では、4月8日から希望に満ちたスタートが切れますよう、心から期待して修了式の話を終わります。

お祝いの報告

本校職員のお二人の先生が、それぞれご結婚されました。おめでとうございます。

1年担任 重枝 侑子 先生

※4月からは中野先生になられます。

3年副担任 只信 敦弘 先生

本年度も小野田中学校、生徒たちに温かいご支援いただき、大変ありがとうございました。

来年度はさらに生徒が主体となって、地域の学校として、保護者・地域の方々から愛される学校を目指します。

今後ともよろしく
お願いいたします

とっぎり3兄弟



※ 小中だよりのカラー版は、ホームページをご覧ください。